

## 7 アフターサービス

保証期間中は保証規定に基づいて修理致します。保証書は故障の修理時またはスペアリモコンの作成時等に必要となります。必要事項が記入されていることをご確認の上大切に保管してください。保証期間後の修理については販売店または取付店にご相談ください。

移転等の理由により販売店または取付店と連絡が取れない場合は下記の発売元までお問い合わせください。

### アフターサービスのお問い合わせ窓口

発売元： 株式会社 シーディートレーディング

〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1  
TEL 0263-81-1189 FAX 0263-84-0089

URL : <http://es89.com>  
e-mail : [info-cdt@circuitdesign.jp](mailto:info-cdt@circuitdesign.jp)

NEXT-S-US2501-01

## 保証書

製品名	NEXT LIGHT	シリアル No.	
保証期間	お買い上げ日（西暦）	年	月
お客様	お名前	様	
	〒		
	ご住所		
	TEL.	-	-
販売店様	〒		
	印	TEL.	-

株式会社 サーキットデザイン

URL : <http://www.circuitdesign.jp>

## 取扱・取付説明書

双方向テレコントロールエンジンスター（プッシュスタート車専用モデル 車種指定）

NEXT  
LIGHT

2ボタンタイプ

はじめに

このたびは、双方向テレコントロールエンジンスターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車のエンジンコンディションを整えるためのウォーミングアップ、寒冷地での暖機運転、酷暑時での車内の冷房等をするために、遠隔操作によってエンジンのスタート／ストップ等を行う機器です。

ご使用の前に、この取扱・取付説明書をよくお読みの上、注意を守って正しくお使いください。



警告

- お客様ご自身での取り付けは危険ですので、取り付けはお買い求め店にご相談ください。
- 本製品を分解・改造しないでください。また、本来の目的以外のご使用は危険ですのでやめください。
- 排気ガスの充満しやすい場所及び公道でのエンジン始動は行わないでください。

注意事項の見方……2

使用上のご注意……2~6

1. エンジンスターの使い方……7

1. このように構成されています  
各部のなまえ／リモコンと電子キーの準備／リモコンの正しい使い方

2. 動かしてみましょう

リモコンの操作とアンサーバックについて／エンジンを始動する／エンジン始動の確認をする／エンジンを止める／エンジン始動・停止の動作条件について／リモコンのエラー表示について

3. 便利な機能

スムーズアンロックシステム／近距離動作モード／インフォメーション／スリープタイマー

4. 機能の設定

①初期設定／②スムーズアンロックシステムの設定／③近距離動作モードの設定／④アイドリング時間の設定

5. こんなときは（Q&A）

2. エンジンスターの取り付け方……29

取り付け上のご注意……30

1. 梱包内容

梱包内容／梱包内容の他に必要なもの

2. 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具／エレクトロタップでの分岐接続方法／接続の概念図（システム図）／接続先の信号一覧

3. 取り付け作業

取り付けの前に／①アンテナユニットの取り付け／②専用ハーネスの取り付け／③CN2配線の接続／④DIP-SWの設定／⑤ハーネス・アンテナケーブルの接続／⑥初期設定／⑦動作チェック／⑧配線セルフチェック／⑨リレーユニットの取り付け／⑩取り付け後の配線処理／⑪機能の設定／⑫設定のリセット／⑬DIP-SW設定状態の確認／⑭リレーユニットのブザー・アンサーバック表

4. 電池交換について

電池交換のしかた

5. 主な仕様

6. スペアリモコンについて

7. アフターサービス

CIRCUIT DESIGN, INC.

## 注意事項の見方

この「取扱・取付説明書」に書かれている注意事項は、製品を安全に正しく最良の状態でお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

### 注意事項の意味



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の意味



禁止事項を示しています。



しなければならないことを示しています。

## 使用上のご注意



本製品を安全に最良の状態でご使用いただくために必ずお読みください。



### この取扱・取付説明書に関する注意事項

- ご使用になる前に本冊子を良くお読みになって正しくお使いください。
- お読みになった後はこの「取扱・取付説明書」を車検証入れ等に保管しある使いになる方がいつでも見ることができるようにしてください。
- 本製品を別の車に取り付け直す場合は「取扱・取付説明書」を同様に保管しある使いになる方がいつでも見ができるようにしてください。「警告ラベル」が無い場合は販売店より入手してください。
- 本製品を譲渡される場合は「取扱・取付説明書」と「保証書」を一緒に譲りください。「警告ラベル」を販売店より入手して一緒に譲りください。

### ご利用にあたっての注意事項

- 本製品は当社で適応としているプッシュスタート付きのオートマチック車専用です。それ以外の車種には取り付けできません。
- 取り付けは概念的な説明で確実に取り付けのできる専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けた場合は保証の対象になりません。
- 本製品を分解・改造はしないでください。分解・改造をされた場合の保証はいたしません。本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。



警告

- 「警告ラベル」がエンジンルーム内に貼られていることを確認してください。貼られない場合は販売店または取付店に貼るようにお願いしてください。警告ラベルが無い状態で車両の点検整備をした場合は事故を起こす危険があります。



「警告ラベル」



注意

- 取り付けには当社製の車種別専用ハーネスキット（別売）が必要になります。販売店にご相談ください。それ以外のハーネスを取り付けた場合は本製品の保証の対象となりません。
- 本製品は他社のターボタイマーまたはセキュリティシステム（車両メーカー純正を含む）等との併用はできません。
- 車両側の純正キーレスエントリーシステム（電子キーシステム等によるドアロック／アンロックも含む）はエンジンスターターによるアイドリング中には作動しません。車両側の純正キーレスエントリーまたは電子キーシステムを使用する場合はエンジンスターターの「STOP」操作でエンジンを停止させてから操作をしてください。エンジンスターターによるアイドリング時は本製品の「オートアンロック機能」または「オートアイドリングストップ機能」を使用することによりアイドリング停止後に車両側のシステムによるアンロックができるようになります。
- 取り付ける車種により使用できない機能があります。販売店・取付店にお問い合わせください。

### 使用時の注意事項



警告

#### 屋内でエンジンを始動しない

- 車庫などの換気の悪い屋内では絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息の恐れがあります。



#### ボディーカバーを掛けたままエンジンを始動しない

- 車両にボディーカバーを掛けたまでは絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息のおそれがあります。高熱の排気ガスによる火災の危険があります。



#### 車内に人やペットを乗せたままでエンジンを始動しない

- 人（特に子供）やペットが車内にいるときは絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの動いている車両を操作したりペットの思わず動きが重大事故につながる恐れがあります。



## !**安全な整備を行うために**



- 車両の点検整備を行う際は車両のバッテリー端子の(-)を外して行ってください。万が一エンジンが始動した場合は重大事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を依頼する場合はエンジンスターター装着車であることをお伝えください。
- 安心して点検整備をするためにボンネットセンサー（オプション）を装着することをお勧めします。



## 🚫 「N」レンジでは使用しない

- エンジンスターターは「P」レンジで使用してください。「N」レンジで使用するとエンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながる恐れがあります。



## !**周囲の安全を確認する**

- 車両の周囲の安全を十分確認できる場所（人やペットが近くにいない）でご使用ください。
- 傾斜地に駐車したときはエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 車両の整備・点検時にはエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 公道ではエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。



## 注意

### 🚫 暖気運転直後は運行前点検をしない

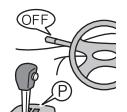


- 車の暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと火傷の恐れがあります。エンジン停止後5分以上経過してから火傷の恐れのないことを確認した上で運行前点検を行ってください。



### 🚫 迷惑なアイドリングはしない

- 環境保護のため周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。



### !**車両駐車時の注意事項**

- ワイパースイッチ・オートアンテナ付きラジオ等はスイッチを「OFF」にしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」にしてください。
- 全ての窓を閉めて全てのドアを施錠（ロック状態）してください。



### !**極寒ではエンジンがかかりにくいこともありますので整備をする**

- 寒冷地ではエンジンのかかりにくいこともあります。車両のプッシュボタンによる始動操作でエンジンが始動するように車両を整備してください。



### !**充電警告灯の点灯時は必ず点検・整備を**

- 車両のプッシュボタンでエンジンを始動した後に車両の充電警告灯（CHGランプ）が消えない場合はエンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をしてください。

## リモコンに関する注意事項



### !**リモコンは安全な場所に保管する**



- リモコンは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んだりアンテナ等で目を突いてけがをしたり誤って操作をして重大な事故につながる恐れがあります。
- リモコンのリチウム電池は充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れる等はしないでください。発火・発熱・破裂の原因となります。電池を破棄する場合及び保存する場合にはテープ等で絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火・破裂の原因となります。

幼児等が万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談ください。



## 注意

### 🚫 高温、多湿な場所に置かない

- リモコンは直射日光下の高温になる場所・湿気の多い場所・極端な温度になる場所（70℃以上または-20℃以下）には置かないでください。リモコンを傷めたりその直後にご使用になると正常に作動しない場合があります。



### 🚫 落としたり、ぶつけない

- リモコンを落としたり固いものにぶつけたりアンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。



### 🚫 水に浸けない

- リモコンは簡易防滴構造になっていますが水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になる恐れがあります。



### !**中性洗剤で汚れをふき取る**

- 汚れを落とすには薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いてから乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんは使用しないでください。汚れが落ちなくなったり傷を付ける恐れがあります。



## 道路交通法に関する注意



## 警告

### 🚫 公道でのエンジンスターターの使用禁止

- 公道で車両のエンジンをかけたままで放置することは禁止されています。違反すると道路交通法違反になります。エンジンスターターは私有地のみでご使用ください。



### 🚫 条例によるアイドリングの禁止

- 地域により車両の停止中にみだりにエンジンを稼働させた場合は条例により罰則を受ける場合があります。エンジンスターターは地域の条例を確認してからご使用ください。

## 電波法に関する注意事項



### 警 告

#### 🚫 分解、改造または海外での使用禁止

- 本製品のリモコン及びリレーユニットは電波法に基づく特定小電力無線機器として技術基準適合証明（利用に関してお客様の免許申請等の手続きは不要）を受けています。必ず次のことを守ってお使いください。

- 分解・改造をしないでください。リモコンは電池交換のためにバッテリーカバーを外すことはできますがそれ以上の分解・改造は法律で禁止されています。

- 技術基準適合ラベルは剥がさないようにしてください。ラベルのないものは使用が禁止されています。

- この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。

This product is for the use only in JAPAN.

- 本製品は混信防止機能として識別符号自動送受信機能を搭載しており他のシステムに不具合を与える場合があります。

#### 🚫 空港施設・航空機内の使用禁止

- 空港施設内及び周辺では本製品を使用しないでください。航空機内へ本製品（リモコン）を持ち込む場合は動作をさせない（スイッチを押さない）ようにしてください。

#### ❗ 付属のアンテナユニットを使用する

- 必ず付属のアンテナユニットを使用してください。付属品以外のアンテナを取り付けすると電波法違反になります。

## その他の注意事項



### 注 意

#### ❗ オプション部品(別売)に関する注意事項

- 別売のオプション部品の使用方法と取り付け方法についてはオプション部品に付属（同梱）の取扱説明書をお読みください。

#### ❗ リモコンの電池に関する注意事項

- リモコンに装着されている電池（CR2450）は使用する環境等により電池の電極へ付着した電解液成分が空気中の水分を吸収して電極の周囲に緑色・白色の結晶が形成されることがあります。

外観的に電池内部からの液漏れのような印象を受けますが液漏れではなく電気的特性に影響（電圧・容量低下等）を及ぼすことはありません。

- 電池交換等で電池を触って緑色・白色の結晶が手に付着した場合は流水で洗い流してください。

誤って目に付着したり飲み込んだりした場合には直ちに医師とご相談ください。

# 1 エンジンスターターの使い方

## 1. このように構成されています

各部のなまえ	8	1
リモコンと電子キーの準備	9	
リモコンの正しい使い方	10	

## 2. 動かしてみましょう

リモコンの操作とアンサーバックについて	11	2
エンジンを始動する	12	
エンジン始動の確認をする	13	3
エンジンを止める	13	
エンジン始動／停止の動作条件について	14	
リモコンのエラー表示について	15	

## 3. 便利な機能

スマーズアンロックシステム	16	4
近距離動作モード	18	5
インフォメーション（電波到達エリアの目安を確認）	19	
スリープタイマー	19	

## 4. 機能の設定

① 初期設定	20	
② スマーズアンロックシステムの設定	21	
③ 近距離動作モードの設定	23	
④ アイドリング時間の設定	24	

## 5. こんなときは(Q&A)

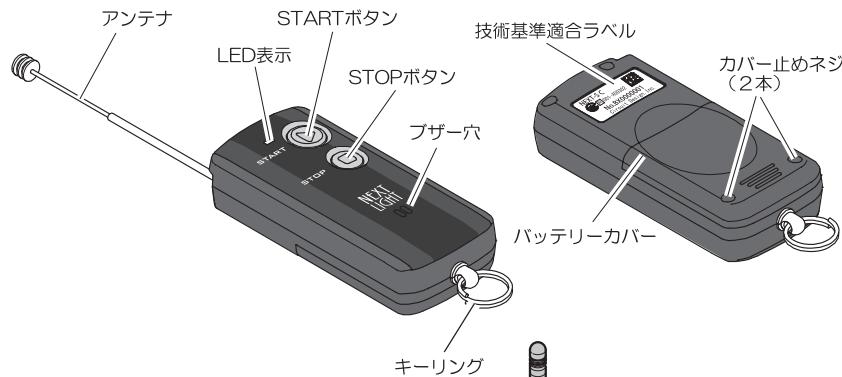
26

# 1 このように構成されています

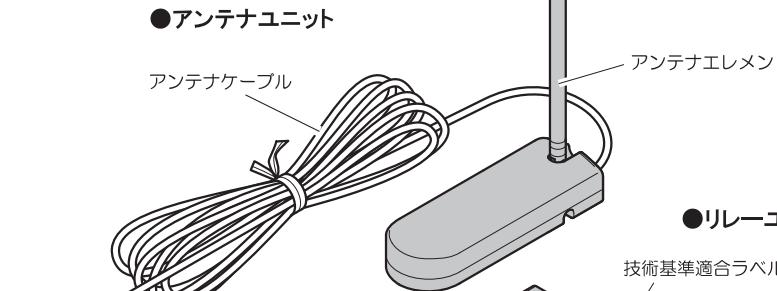
1

## 各部のなまえ

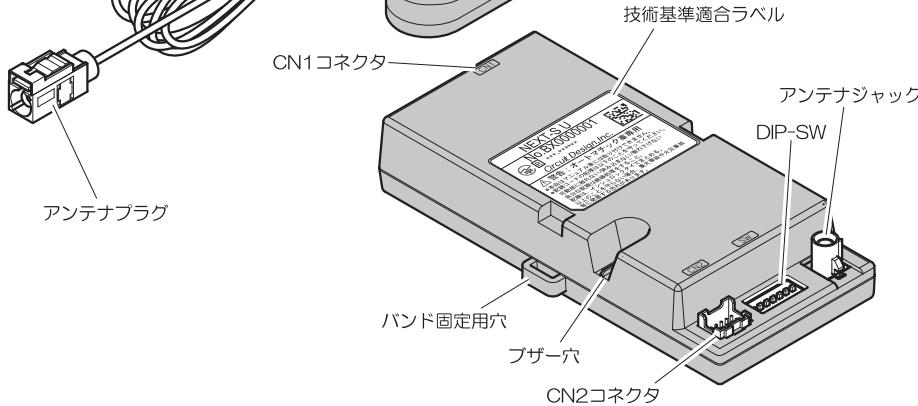
### ●リモコン



### ●アンテナユニット



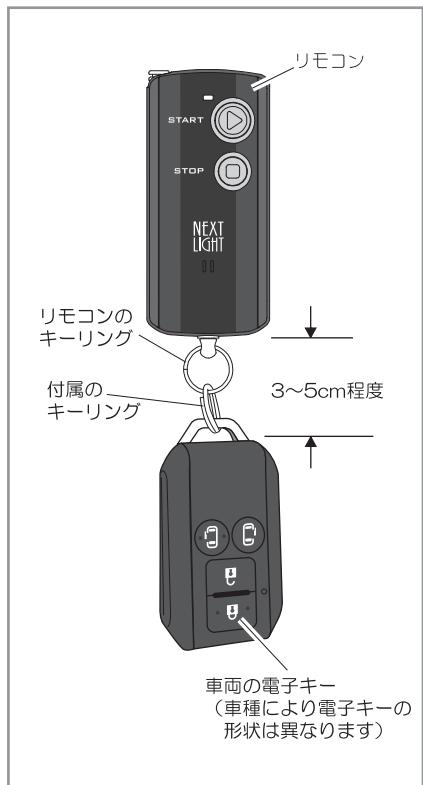
### ●リレーユニット



# リモコンと電子キーの準備

- 車両の電子キーを付属のキーリングを使用してリモコンのキーリングへ取り付けしてください。
- 市販のキーリング等を使って電子キーを取り付けする場合はリモコンと電子キーの間隔が著しく離れないようしてください。
- リモコンと車両の電子キーはキーリングに取り付けしたまま一緒に携帯してください。
- 車両の電子キーの紛失・破損等に対しての責任は一切負いかねますのでご了承ください。

1



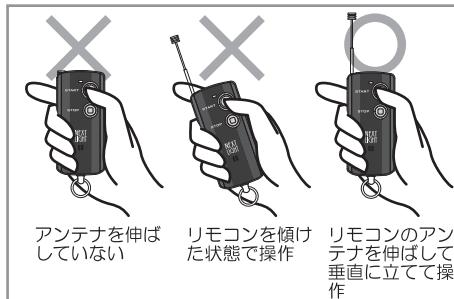
注意

- リモコンでエンジンを始動するためには車両の電子キーが必要です。
- 電子キーの電池が消耗して車両のエンジン始動およびドアロック／アンロックが作動しなくなるとリモコンによるエンジン始動ができなくなります。車両の取扱説明書を参照して電子キーの電池を交換してください。

## リモコンの正しい使い方

●安定したエンジン始動動作と通信距離を確保するためにリモコンを操作するときは次のことを守って使用してください。

①リモコンのアンテナを完全に伸ばし垂直に立てて操作をしてください。



②リモコンでエンジンを始動するときは電子キーを重ねた状態で操作をしてください。

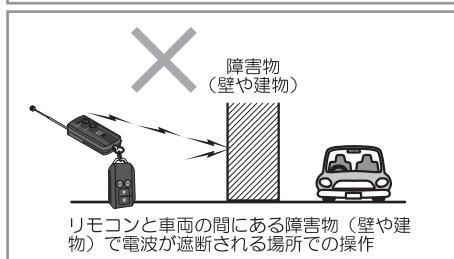


③リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

アンテナに手を触れた状態でリモコンの操作をしないでください。



④リモコンはなるべく車両が見通せる場所で操作をしてください。



## ② 動かしてみましょう

### リモコンの操作とアンサーバックについて

●リモコンの各ボタンを0.5秒以上押し続けることによってブザーが鳴り送信します。ボタンを連続で操作する場合は前の操作によるアンサーバック（ブザーとLED表示）後に次の操作を行ってください。

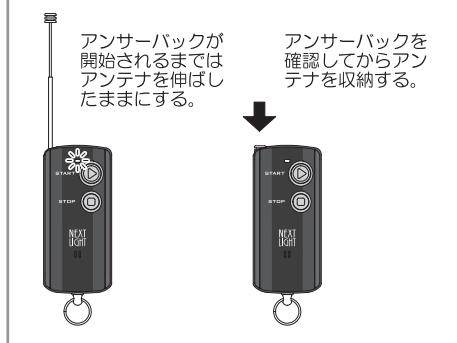
●送信操作後にリモコンはそれぞれの動作に対応したアンサーバックをブザーとLED表示で行います。（※1）



●リモコンがアンサーバックをせずにLED表示が青色で点灯／点滅する場合は電波環境が悪く通信が正常にできていません。もう一度操作を行ってください。（※2）



●アンサーバックが開始されるまでは電波が送受信されているのでアンテナは伸ばしたままにしておいてください。  
アンテナは十分に伸ばして高い場所で操作した方が電波到達距離が長くなります。



※1…明るい場所での使用時はLED表示（緑色、赤色、青色）が見えにくい場合がありますのでご了承ください。

※2…エラーの詳細は「リモコンのエラー表示について」（15ページ）を参照してください。

## エンジンを始動する

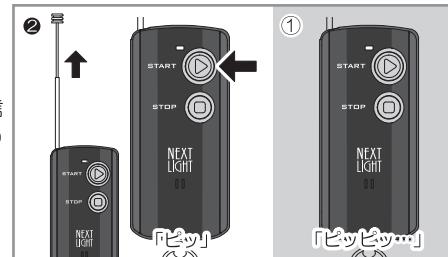
①リモコンの裏側のガイド部分（凹部）へ車両の電子キーを重ねた状態にして手に持ってください。



②リモコンのアンテナを伸ばし「START」ボタンをブザーが「ピッ」と鳴るまで押します。

アンテナは伸ばしたままでお待ちください。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信するとブザーが「ピッ ピッ …」とゆっくり鳴ります。



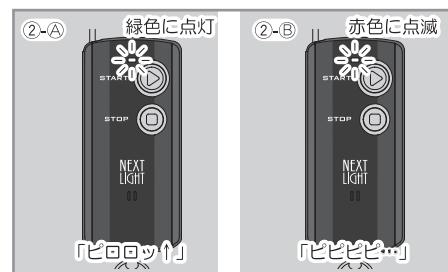
②続けて電子キーの認証状態（下記のⒶまたはⒷ）をそれぞれのブザー音とLED表示でアンサーべックします。

Ⓐ電子キーの認証成功

- ブザー音…ピロロッ↑
- LED表示…緑色に点灯

Ⓑ電子キーの認証失敗（※1）

- ブザー音…ビビビビ…
- LED表示…赤色に点滅



※1 「電子キーの認証失敗」のアンサーべックが出たときは電子キーの認証ができないためエンジンの始動ができません。もう一度「START」操作を行ってください。

建物の中または障害物が多い場所等で通信状態が悪い場合は電子キーの認証ができずに「認証失敗」が出やすくなります。リモコンの「START」操作はできるだけ車両が見通せる場所で行うようにしてください。

③「電子キーの認証成功」のアンサーべックを確認してからアンテナを収納します。



注意

- アンテナを伸ばすときまたは収納するときはアンテナトップ（アンテナの先端の飾り部分）を持って上下方向にまっすぐに動かしてください。無理な力で引っ張ったり左右に強く曲げるとアンテナが曲がったり破損する場合があります。

## エンジン始動の確認をする

●リモコンの「START」操作でエンジン始動（エンジンがかかっているか）及びアイドリング残時間を確認することができます。

●エンジン始動の確認をする場合はリモコンでエンジン始動操作後約1分以上経過してから行ってください。

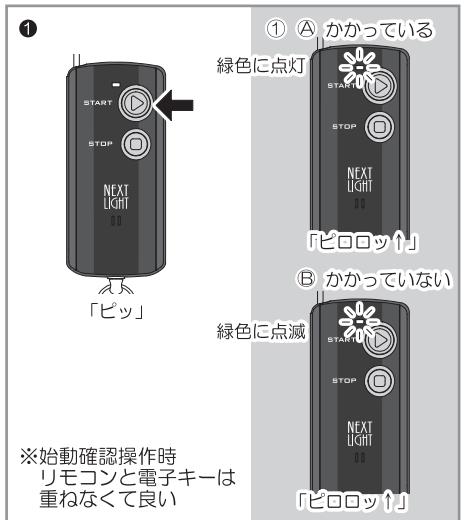
①「START」ボタンを「ピッ」と鳴るまで押します。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信するとリモコンはエンジン始動状態（下記のⒶまたはⒷ）をブザー音とLED表示でアンサーべックします。

Ⓐエンジンがかかっているとき（エンジンスターターによるアイドリング状態のとき）

- ブザー音…ピロロッ↑
- LED表示…緑色に点灯
- 続けてアイドリング残時間（あと何分間エンジンがかかっているか）をブザー一音でアンサーべックします。

アイドリング残時間	ブザー音
15分～30分	ピッ ピッ ピッ
5分～15分	ピッ ピッ
5分未満	ピッ



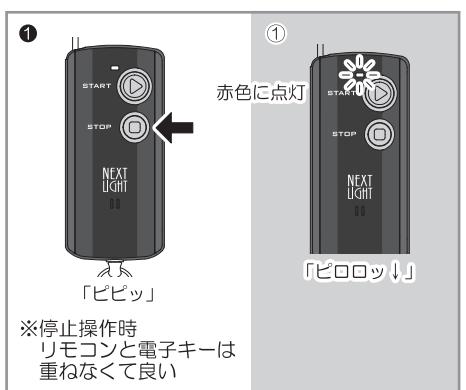
Ⓑエンジンがまだかかっていないとき（エンジンをかけている最中のとき）

- ブザー音…ピロロッ↑
- LED表示…緑色に点滅

## エンジンを止める

①「STOP」ボタンを「ピピッ」と鳴るまで押します。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信するとリモコンはエンジンが止まったことをブザー音（ピロロッ↓）とLED表示（赤色に点灯）でアンサーべックします。



## エンジン始動／停止の動作条件について

### 初期設定

- 取り付け直後またはリレーユニットの電源が切られた場合（バッテリーを外したとき等）は「初期設定」（20ページ）を行わないとエンジンスターでエンジン始動はできません。

### エンジン始動の条件（安全機構）

- 次の条件が全て満たされるとエンジンは始動します。

1. 運転席ドアが閉じている。（ドア検出配線が接続されている車両）
2. ボンネットが閉じている。（ボンネットセンサー〈別売のオプション部品〉が取り付けされている車両）
3. フットブレーキが踏まれていない。

### STOP操作以外のエンジンの停止

- アイドリングタイマーにより20分（アイドリング時間を変更した場合は10分または30分）経過するとエンジンは自動的に停止します。

- 安全機構が作動するとエンジンは自動的に停止します。

1. 運転席ドアを開ける。  
ドア検出配線が接続されている車両はエンジンが止まります。
2. ボンネットを開ける。  
ボンネットセンサー〈別売のオプション部品〉が取り付けされている車両はエンジンが止まります。
3. フットブレーキを踏む。

- オートアイドリングストップ機能（16ページ）を「使用する」に設定してある車両でリモコンを携帯して車両の周囲へ近づいてオートアイドリングストップが作動するとエンジンは自動的に停止します。

## リモコンのエラー表示について

●次のような場合は送信操作後にLED表示が点灯／点滅してエラーになります。

- ① リモコンで送信してもアンテナユニット（車両側）まで電波が届かないとき。またはアンテナユニットから送り返された信号をリモコンが受信できずアンサーバックできないとき。

- ブー音が出てLED表示が青色で点滅します。
- 電波到達エリア外です。場所を変えてからもう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになってしまってもアンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は車両側は作動（エンジンの始動等）します。



- ② リモコンで「START」操作をしても安全機構が作動してエンジン始動できないとき。

- ブー音が出てLED表示が赤色で点滅します。
- 安全機構（エンジン始動の条件）が満たされるように車両側を点検してください。
- 初期設定（20ページ）をしていない場合も同じエラーになります。



- ③ リモコンで送信操作をしても電波を送信できないとき。

- ブーー音（3秒間）が出てLED表示が青色で点灯します。
- 電波法の規定によりリモコンを使用するエリア周辺でリモコンで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合はリモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され電波を出すことができなくなります。しばらく時間をおいてからもう一度操作をしてください。
- 特定の場所で何度も送信操作をしても同じエラーが出てしまう場合は、同一周波数帯の電波が周囲で常に発信されており電波が受けない状況になっています。時間をおいても状況が変わらない場合は通信周波数の設定変更を行い対応できる場合があります。販売店または取付店にお問い合わせください。



- ④ リモコンで送信してもアンテナユニット（車両側）がアンサーバックできないとき。

- ブー音が出てLED表示が青色で点滅します。
- 電波法の規定によりアンテナユニット（車両側）のエリア周辺でアンテナユニットで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合はリモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され電波を出すことができなくなります。しばらく時間をおいてからもう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになってしまってもアンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は車両側は作動（エンジンの始動等）します。



- ⑤ ブッシュボタンで車両のIG電源が「ON」になっているとき。

- ブブー音が出てLED表示が赤色で点滅します。
- 車両のブッシュボタンでIG電源を「OFF」にしてからもう一度操作をしてください。



### ③ 便利な機能

#### スムーズアンロックシステム

- エンジンスターターのリモコン操作でアイドリングを行い車両へ乗り込む際に「オートアンロック機能」または「オートアイドリングストップ機能」を使用してアイドリング停止後に車両側のシステムによるアンロック動作を行いドアを開けることができます。
- 出荷時は「スムーズアンロックを使用しない」に設定されています。機能の設定により「オートアンロック機能を使用する」・「オートアイドリングストップ機能を使用する」に変更することができます。

#### オートアンロック機能の使い方

- 準備：「オートアンロック機能を使用する」に設定してください。（21ページ）

①アイドリング中にリモコンと車両の電子キーを携帯して運転席ドアの横（目安としてドアから1m以内のエリア）へ移動します。

②リモコンで「STOP」操作を行います。

③アイドリングが停止してから約1秒後に車両側のシステムにより自動的にアンロックが作動して開錠されドアを開けることができます。



■アンロック作動時は車両のブザーによる作動音とハザードランプの点滅により車両側のシステムでアンロックしたときと同じアンサーバックを行います。

■車両の運転席ドアから離れた場所からリモコンで「STOP」操作を行ってもアンロックは作動しません。

■車両のドアが開錠（ドアがロックされていない）状態でオートアンロック機能を使用するとアイドリングが停止してから約1秒後にドアロックが作動して施錠されます。車両によりオートアンロック機能で開錠してから30秒間ドアを開けずに放置すると車両側のオートロックが作動して施錠されます。その場合は車両側のシステム（運転席ドア外側のリクエストボタンを押す・ドアレバーのアンロックセンサーを握る・電子キーのアンロックボタンを押す）でアンロック操作を行い開錠してください。

■オートアンロック機能を使用するためには車両側への配線が必要です。取り付ける車種によりこの機能が使用できない場合があります。販売店または取付店にご確認ください。

#### オートアイドリングストップ機能の使い方

- 準備：「オートアイドリングストップ機能を使用する」に設定してください。（22ページ）

①アイドリング中にリモコンと車両の電子キーを携帯して車両の近傍（目安として車両から1～5m以内のエリア）へ移動します。

②リモコンが自動的に「STOP」送信を行いアイドリングが停止します。



③アイドリングが停止してから車両側のシステム（運転席ドア外側のリクエストボタンを押す・ドアレバーのアンロックセンサーを握る・電子キーのアンロックボタンを押す）でアンロック操作を行い開錠してドアを開けることができます。

■オートアイドリングストップ動作の感度は機能の設定により変更することができます。（22ページ）

■オートアイドリングストップ機能によるアイドリングの自動停止は周囲の電波環境等の影響により車両から数m以上離れた場所から作動してエンジンが止まる場合があります。

■同様に車両の近傍（例えば運転席ドアの横）へ移動してしばらく待機しても機能が作動せずにアイドリングが止まらない場合があります。その場合はリモコンで「STOP」操作を行いアイドリングを止めてください。

■アイドリングの自動停止動作が不安定な場合はこの機能を使用せずに機能の設定により「オートアンロック機能を使用する」または「スムーズアンロックを使用しない」に変更してください。（21～22ページ）

■オートアイドリングストップ機能を使用する場合は電池寿命の目安は約半年間となります。（通常より早く電池が消耗します。）

#### どちらの機能も使用しない場合

- 準備：「スムーズアンロックを使用しない」に設定してください。（21ページ）

①リモコンで「STOP」操作を行いアイドリングを止めてください。



②アイドリングが停止してから車両側のシステム（運転席ドア外側のリクエストボタンを押す・ドアレバーのアンロックセンサーを握る・電子キーのアンロックボタンを押す）でアンロック操作を行い開錠してからドアを開けてください。

■取り付ける車種によりアイドリングが停止してからすぐに車両側のシステムによるアンロック操作ができない場合があります。その場合は車両の電子キーのアンロック操作で開錠を行ってください。

## 近距離動作モード

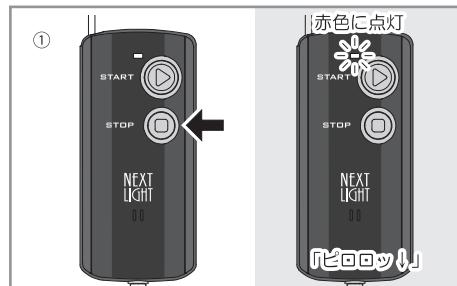
- 使用する車種または周囲の環境等により車両の近傍（目安として車両の周囲10m以内のエリア）からリモコンで「START」操作を行うと車両の電子キーから出る電波がエンジンスターター側の電波と干渉するため正常に電子キーの認証ができずエンジンが始動しない場合があります。
- 車両の近傍でエンジンスターターを使用する頻度が高く電子キーの認証失敗でエンジン始動しないことが多い場合は近距離動作モードを使用することにより症状が改善する場合があります。
- 出荷時は近距離動作モードを「使用しない」に設定されています。近距離動作モードを使用する場合は機能の設定により「使用する」に設定してください。（23ページ）

### 近距離動作モードの使い方

- 準備：近距離動作モードを「使用する」に設定してください。（23ページ）
- 車両の近傍（車両に近く電波が干渉するエリア）でエンジン始動をする場合のみ以下の手順でリモコン操作を行ってください。

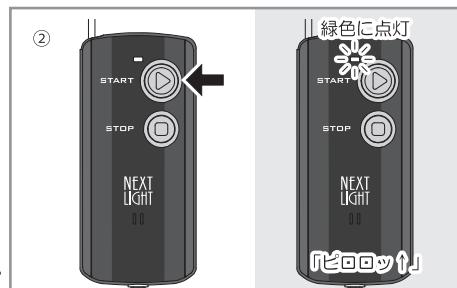
#### ①リモコンで「STOP」操作を行い

アンサーバック（ブザー音：ピロロッ↓とLED表示：赤色に点灯）を確認してください。



#### ②続けて「START」操作を行い

アンサーバック（ブザー音：ピロロッ↑とLED表示：緑色に点灯）を確認してください。



■ 車両の近傍以外（車両から離れており電波が干渉しない場所）からエンジンを始動する場合は必ず通常の「START」操作のみでエンジン始動を行ってください。

離れた場所から近距離動作モードの手順でリモコン操作を行うと電子キーの認証ができないためエンジンは始動しません。

■ 近距離動作モードによるエンジン始動は「STOP」操作を行った後の「START」操作1回のみ有効です。2回目以降の「START」操作は通常の始動動作となります。

■ 近距離動作モードによるエンジン始動時はリモコンで「START」操作後にリレーユニットから近距離動作モード作動のブザー音「ピーピー」が出ます。（通常始動動作時のブザー音は「ビッ」です）

■ 近傍でエンジンスターターを使用しても正常に電子キーの認証ができるエンジンが始動する車両は近距離動作モードを使用しないでください。

■ 近距離動作モードを使用しないに戻す場合は機能の設定により「使用しない」に設定してください。（23ページ）

## インフォメーション(電波到達エリアの目安を確認)

- 車両のエンジンが停止しているとき（駐車中）にリモコンで「STOP」操作を行うと電波到達エリア（車両まで電波が届くかどうか）の目安を確認することができます。
- 近距離動作モードを「使用する」に設定してある車両ではインフォメーション機能を使用しないでください。リモコンで「STOP」操作を行うと直後の「START」操作で車両から離れた場所からのエンジン始動ができなくなります。

### インフォメーション機能の使い方

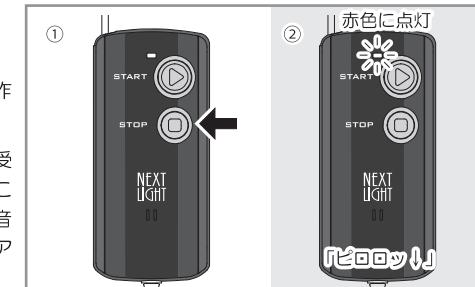
① リモコンのアンテナを伸ばし「STOP」操作を行います。

② アンテナユニット（車両側）からの信号を受信するとリモコンは電波到達エリアであること（エンジン停止中であること）をブザー音（ピロロッ↓）とLED表示（赤色に点灯）でアンサーバックします。

■ アンサーバックが無くエラーになる場合は電波到達エリア外のためリモコンで操作をしても車両側は基本的に作動しません。



- インフォメーション機能により電波到達エリア内の場合でも「START」操作をしたときに「電子キーの認証失敗」のアンサーバックが出てエンジンの始動ができないことがあります。
- 電波到達エリアの確認は通信できる距離の目安としてご利用ください。



## スリープタイマー

- 30日以上リモコンの「START」操作をせずにエンジンスターターを使用しなかったり車両のプッシュボタンでIG電源を「ON」にすることが無かった場合は車両バッテリーの負担を軽減するためにリレーユニットはスリープ（節電）モードに入ります。
- スリープモード中は受信動作を停止するためリモコンで送信操作をしても車両側は作動しません。
- スリープモードから通常使用状態に復帰させるときは車両のプッシュボタンで3秒以上IG電源を「ON」にしてください。

## 4 機能の設定

- 各機能はリモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定はそれぞれの設定手順に従って必要に応じて行ってください。
- 各機能の設定完了後は機能が設定したとおりに作動することを必ず確認してください。
- 設定手順の間違いなどで機能が正しく作動しなかった場合は設定のリセット（43ページ）を行い全ての設定を工場出荷時の状態（初期設定）に戻してからもう一度各機能の設定を行ってください。
- 設定手順のブザーはリレーユニットから出るブザー音です。

### 1 初期設定

- 取り付け直後またはリレーユニットの電源が切られた場合（車両のバッテリーを外したとき等）はこの設定をしないとエンジンスターターでエンジン始動はできません。

1 車両のプッシュボタンを2回押して  
イグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---



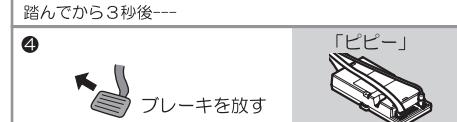
2 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ピピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---



3 フットブレーキを踏む  
→ブザー：2秒後に「ブブ…」  
---踏んでから3秒後---



4 フットブレーキを放す  
→ブザー：「ビビー」  
---初期設定完了---



5 車両のプッシュボタンを1回押して  
イグニッションを「OFF」にする



4

4

### 2 スムーズアンロックシステムの設定(出荷時:使用しない)

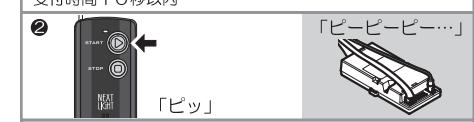
- 「スムーズアンロックを使用しない」・「オートアンロック機能を使用する」・「オートアイドリングストップ機能を使用する」のいずれかに設定できます。

#### 「スムーズアンロックを使用しない」の手順

1 車両のプッシュボタンを2回押して  
イグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---



2 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---



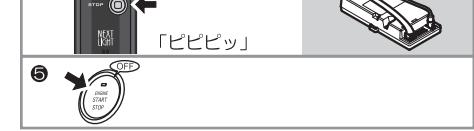
3 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ピピッ」  
→ブザー：「ブブブ…」  
---受付時間10秒以内---



4 「START」「STOP」ボタンを同時に押す  
→送信音：「ピピピッ」  
→ブザー：「ブーブーブー」  
---「スムーズアンロックを使用しない」に設定完了---



5 車両のプッシュボタンを1回押して  
イグニッションを「OFF」にする



#### 「オートアンロック機能を使用する」の手順

1 車両のプッシュボタンを2回押して  
イグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---



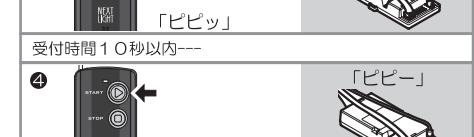
2 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---



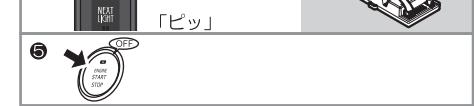
3 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ピピッ」  
→ブザー：「ブブブ…」  
---受付時間10秒以内---



4 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ビビー」  
---「オートアンロック機能を使用する」に設定完了---

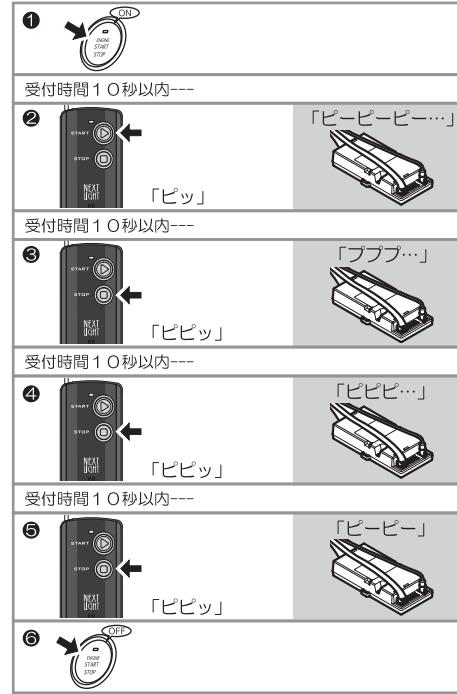


5 車両のプッシュボタンを1回押して  
イグニッションを「OFF」にする



## 「オートアイドリングストップ機能を使用する」の手順

- 1 車両のプッシュボタンを2回押して  
イグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ビピッ」  
→ブザー：「ブブ…」  
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ビピッ」  
→ブザー：「ビビビ…」  
---受付時間10秒以内---
- 5 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ビピッ」  
→ブザー：「ピーピー」  
---「オートアイドリングトップ機能を使用する」に設定完了---
- 6 車両のプッシュボタンを1回押して  
イグニッションを「OFF」にする



●アイドリングの自動停止動作の感度を変更する場合は上記の⑤の手順でそれぞれ下記のリモコン操作を行い設定をしてください。

## 「感度を上げる」に変更する

■車両の近傍（例えば運転席ドアの横）で待機してもアイドリングが止まらない場合はこちらに変更してください。

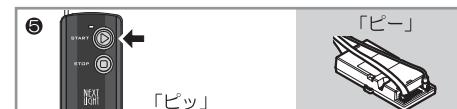
- 5 「START」「STOP」ボタンを同時に押す  
→送信音：「ビビピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー」  
---「感度を上げる」に設定完了---



## 「感度を下げる」に変更する

■車両から離れた距離（20~30m以上）でもアイドリングが停止してしまう場合はこちらに変更してください。

- 5 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピー」  
---「感度を下げる」に設定完了---

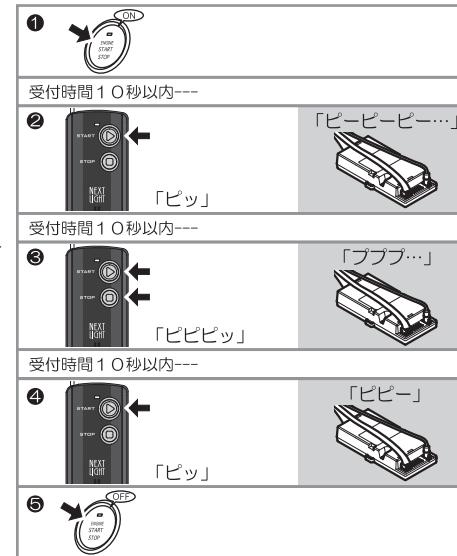


## ③ 近距離動作モードの設定(出荷時:使用しない)

●近距離動作モードを「使用する」・「使用しない」のいずれかに設定できます。

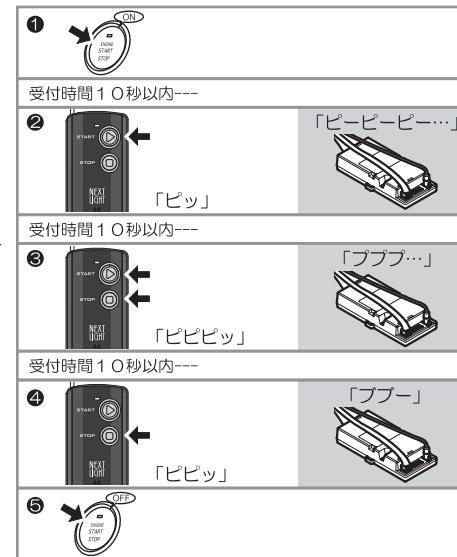
## 「使用する」の手順

- 1 車両のプッシュボタンを2回押して  
イグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す  
→送信音：「ビビピッ」  
→ブザー：「ブブ…」  
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ビビー」  
---「使用する」に設定完了---
- 5 車両のプッシュボタンを1回押して  
イグニッションを「OFF」にする



## 「使用しない」の手順

- 1 車両のプッシュボタンを2回押して  
イグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す  
→送信音：「ビビピッ」  
→ブザー：「ブブ…」  
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ビピッ」  
→ブザー：「ブブー」  
---「使用しない」に設定完了---
- 5 車両のプッシュボタンを1回押して  
イグニッションを「OFF」にする



## 4 アイドリング時間の設定(出荷時:20分)

●エンジンスターターのアイドリングタイマー(暖機)時間を「10分」・「20分」・「30分」のいずれかに設定できます。

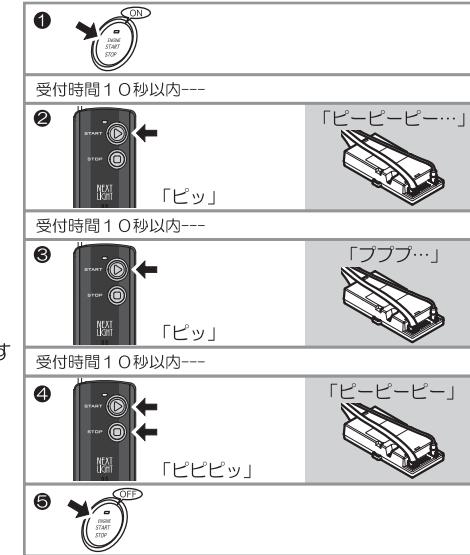
### 「10分」の手順

- 車両のプッシュボタンを2回押してイグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ブブブ…」  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピー」  
---「10分」に設定完了---
- 車両のプッシュボタンを1回押してイグニッションを「OFF」にする



### 「30分」の手順

- 車両のプッシュボタンを2回押してイグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ブブブ…」  
---受付時間10秒以内---
- 「START」「STOP」ボタンを同時に押す  
→送信音：「ビビピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー」  
---「30分」に設定完了---
- 車両のプッシュボタンを1回押してイグニッションを「OFF」にする



### 「20分」の手順

- 車両のプッシュボタンを2回押してイグニッションを「ON」にする  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ピーピーピー…」  
---受付時間10秒以内---
- 「START」ボタンを押す  
→送信音：「ピッ」  
→ブザー：「ブブブ…」  
---受付時間10秒以内---
- 「STOP」ボタンを押す  
→送信音：「ビピッ」  
→ブザー：「ピーピー」  
---「20分」に設定完了---
- 車両のプッシュボタンを1回押してイグニッションを「OFF」にする



## ⑤ こんなときは（Q&A）

### リモコン操作関係

Q

リモコンの操作距離が短くなった。

A

- ①リモコンのアンテナを十分伸ばして操作していますか。
  - 操作してアンサーバックが表示されるまでアンテナを伸ばしておいてください。
- ②電池が消耗していませんか？
  - 新しい電池（CR2450×1個）と交換してください。（44ページ）
- ③周囲の電波環境が悪いのでは？
  - しばらく時間をおくか場所を変えてもう一度操作をしてください。

5

5

### エンジン始動関係

Q

リモコンの「START」操作をしてもエンジンがかからない。

A

- ①電子キーの認証ができていないのでは？
  - 「START」操作後「電子キーの認証失敗」のアンサーバックが出たときは電子キーの認証ができないためエンジンの始動ができません。（12ページ）
- ②電子キーの電池が消耗しているのでは？
  - 車両の電子キーの電池が消耗してプッシュボタン操作によるエンジン始動ができなくなるとリモコンによるエンジン始動ができません。
  - 電子キーの電池を交換してください。

26

③車室内に電子キーが残っていませんか？

- 予備（スペア）の電子キーも含めて全て車室外に出してからリモコンでエンジン始動操作をしてください。

④車両のバッテリー端子を外したことがありますか？

- 「START」操作後リレーユニットのブザーが「ブーブ」と鳴ったら「初期設定」を行ってください。（20ページ）

⑤エンジン始動の条件（安全機構）は満たされていますか？

- 始動条件（安全機構）が満たされているか確認してください。（14ページ）

⑥車両のIG電源が「ON」になっていますか？

- プッシュボタンでIG電源を「OFF」にしてください。

⑦エンジンの始動性が悪くなっていますか？

- 車両のプッシュボタンで始動してもエンジンのかかりが悪い場合には車両の整備をした上で取付店にご相談ください。

⑧車両のバッテリーが弱っていますか？

- バッテリーが弱っていたら充電または交換をしてください。

⑨「リモコンの操作距離が短くなった」（26ページ）の項目を確認してください。

Q

リモコンの「STOP」操作をしてもエンジンが止まらない。

A

- ①車両のプッシュボタンでエンジンを始動していませんか？
  - プッシュボタンを押してエンジンを止めてください。
- ②「リモコンの操作距離が短くなった」（26ページ）の項目を確認してください。

Q

エンジンは始動するがすぐに停止してしまう。

A

- ①車両のバッテリーが弱っていますか？
  - バッテリーが弱っていたら充電または交換をしてください。
- ②エンジン始動検出ができていません。
  - 車両側への配線が必要になる場合があります。取付店に依頼してください。

27

## 各機能関係

Q

各機能が使用できない。

A

①機能の設定はされていますか？

●使用する機能の設定を行ってください。(21~25ページを参照)

②必要な配線はされていますか？

●使用する機能により車両側への配線が必要です。取付店に依頼してください。

## その他(全般)

Q

リモコンを操作してもエラーになり車両側が作動しない。

A

●「リモコンのエラー表示について」(15ページ)を参照してエラーの内容を確認してください。

Q

車両のバッテリーを外した。

A

●「初期設定」を行ってください。(20ページ)

Q

リモコンを紛失（破損）してしまった。リモコンを新しくしたい。

A

●スペアリモコンを有償で注文できます。保証書またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認して取付店または販売店に注文してください。

●スペアリモコンを使用する場合には今までの古いリモコンは使えなくなります。  
(1台の車両に対して使用できるのは1台のリモコンのみです)

## 2 エンジンスターターの取り付け方

### 1.梱包内容

梱包内容	31
梱包内容の他に必要なもの	31

### 2.取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具	32
エレクトロタップでの分岐接続方法	32
接続の概念図（システム図）	33
接続先の信号一覧	32

### 3.取り付け作業

取り付けの前に	34
①アンテナユニットの取り付け	34
②専用ハーネスの取り付け	35
③CN2配線の接続	36
④DIP-SWの設定	37
⑤ハーネス・アンテナケーブルの接続	37
⑥初期設定	37
⑦動作チェック	38
⑧配線セルフチェック	39
⑨リレーユニットの取り付け	42
⑩取り付け後の配線処理	42
⑪機能の設定	42
⑫設定のリセット	43
⑬DIP-SW設定状態の確認	43
⑭リレーユニットのブザーアンサーバック表	43

### 4.電池交換について

電池交換のしかた	44
----------	----

### 5.主な仕様

### 6.スペアリモコンについて

### 7.アフターサービス

1

2

3

4

5

6

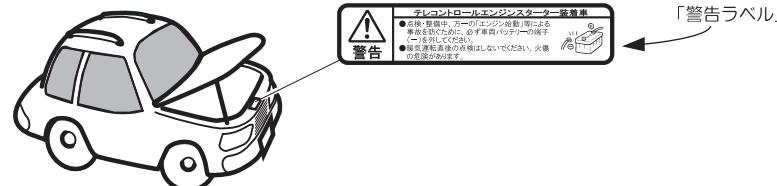
7

## 取り付け上のご注意

本製品を安全に最良の状態でご使用いただくために取り付け前に必ずお読みください。



- 本製品は後付けの性格上車両内の重要な配線部分に接続するようになっています。  
誤配線・配線省略・設定間違い・リレーユニットの固定不徹底・配線の後処理の不徹底等は重大な事故を起こす原因となりますので取り付け説明に従って注意を良く守り一つ一つ接続先を確認しながら作業を進めてください。
- 作業終了後は実際に操作して動作確認をしてください。  
車両が安全な場所にあること・周囲に人がいないことを確かめ（特に車両の前後、ボンネット内で作業をしていると危険）実際にリモコンを操作して動作チェックをしてください。正常に動作しないままでのご使用やお客様への引き渡しはしないでください。
- 取り付け終了後は本冊子の保証書欄（48ページ）に販売店名・販売日・シリアルNo.を記入してから本冊子をお客様にお渡しください。
- 付属の「警告ラベル」をエンジルーム内の良く見え高温にならない場所に油やほこりを良く拭き取ってから貼ってください。本製品を取り付ける際に「警告ラベル」が無い場合は販売店または取扱店より入手して貼るようにしてください。



- 「警告ラベル」が無い状態で点検整備をした場合は事故を起こす危険があります。

## 取り付けにあたって知っておきたい注意事項



- 取り付けは概念的な説明で確実に取り付けができる専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けた場合は保証の対象になりません。
- 本製品に関する一般的な注意事項は「使用上のご注意」（2～6ページ）に記載されています。取り付け前に必ずお読みください。

## ① 梱包内容

### 梱包内容

品名	数量	品名	数量
リモコン	1	バンド（リレーユニット用）	1
リレーユニット	1	両面テープ（リレーユニット用）	1
アンテナユニット	1	警告ラベル	1
取扱・取付説明書（本書）	1	キーリング（リモコン用）	1

### 梱包内容の他に必要なもの

- 以下の部品及び車種別取付資料は販売店にお問い合わせいただくかインターネットのホームページ（48ページ）で確認していただき必要なものを準備してください。

#### 1. 専用ハーネスキット（必ず用意する）

- 専用ハーネスキットは取り付ける車種により品名と品番が異なります。
- 車種別に取り付けて必要な部品一式（専用ハーネス・CN2ハーネス・エレクトロタップ等）をまとめたキットです。

#### 2. 主なオプション部品（必要に応じて用意する）

##### ライトキャンセルユニット

##### ライトキャンセル追加ハーネス

- エンジンスターターによる夜間等のアイドリング中にヘッドライトを含むランプ類（デイライトは除く）を消灯させる場合に必要です。
- 取り付けができる車種は当社で適応としている車種のみです。
- 取り付ける車種により品番が異なります。

##### ポンネットセンサーII（EP171）

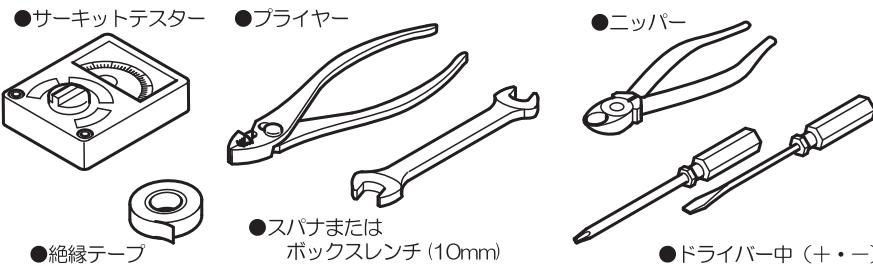
- エンジン始動条件の安全機構で「ポンネット開」を検出する場合に必要です。
- 車両の点検整備時の安全を確保するために取り付けをおすすめしています。

#### 3. 車種別取付資料（必ず用意する）

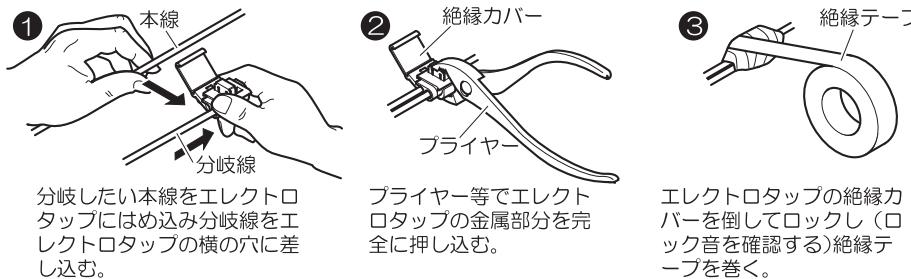
- 取り付ける車種別に専用に作成された取り付け資料です。

## 2 取り付け前の準備

### 揃えておきたい主な工具



### エレクトロタップでの分岐接続方法

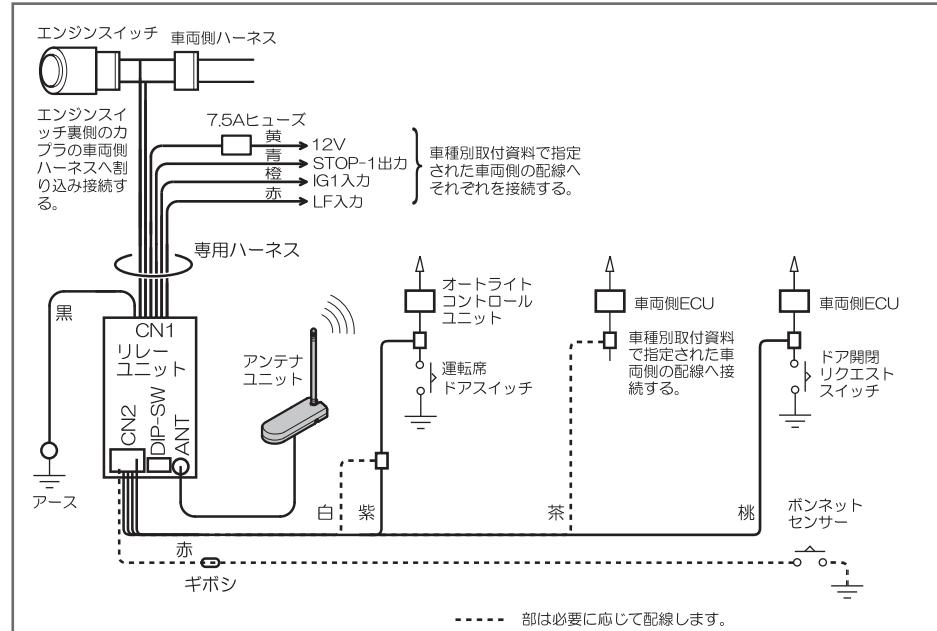


### 接続先の信号一覧(CN2 ハーネス)

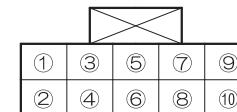
● サーキットテスターで信号の電圧を確認してください。

端子No.	線色	接続先	接続先の信号					備考
①	茶	始動検出	車種別取付資料を参照して指定された車両側の配線へ接続してください					車種別取付資料で指示がある車種のみ接続する
②		ポンネットセンサー (オプション)	ポンネット開	→ アース →と導通	ポンネット 閉	→ アース →と非導通		ポンネットセンサー(オプション)に付属の取扱説明書を参照して、オプションに付属のギボシ付き赤色線をCN2の2番端子へ差し込み接続する。
③	紫	ドア	ドア開	→ 0V	ドア閉	→ 12V		車種によりドア開の電圧は数Vの場合があります。
⑥	桃	オートアンロック	何もしないとき	→ 12V	運転席ドア外側のリクエスト	ボタンを押したとき	→ 0V	車種により何もしないときの電圧は数Vの場合があります。
⑧	白	オートライト	運転席ドア 開	→ 0V	運転席ドア 閉	→ 12V		車種により運転席ドア開の電圧は数Vの場合があります。

### 接続の概念図(システム図)



● CN2ハーネスの端子 No. (配線側より視)



### ③ 取り付け作業

- 車両のバッテリー端子の(-)を外してから作業を行ってください。
- 取り付ける車両ごとに異なる配線の接続先・取り付け上の注意事項等は必ず「車種別取付資料」を参照してください。本説明書では一般的な説明と補足説明にとどめます。

#### 取り付けの前に

あらかじめリレーユニットの取り付け場所を決めてください。



- リレーユニットは車室内に設置し取り付け場所は高温(70°C以上)とならない水の浸入しない結露しにくい場所にしてください。
- 各ハーネス及びアンテナケーブルはリレーユニットの取り付け場所を中心に取り回して接続してください。

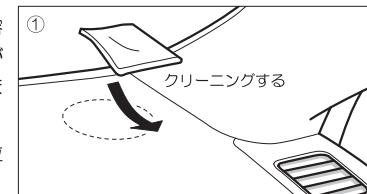
### ① アンテナユニットの取り付け

- アンテナユニットは運転席側ダッシュボードサイドの両面テープで確実に固定できる平らな面に取り付けてください。

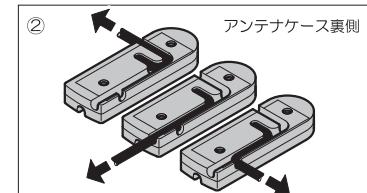


- アンテナユニットを取り付ける前に取り付ける場所の油やほこりをきれいに拭き取って容易に剥がれないように貼ってください。剥がれ落ちると運転に支障をきたす恐れがあります。
- アンテナユニットは視界の妨げにならない位置に設置してください。

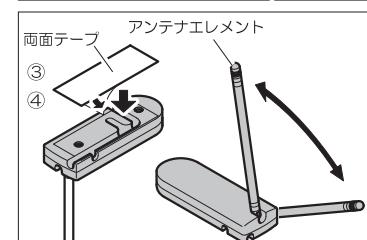
1 アンテナユニットを取り付ける場所を決め取り付ける場所をクリーニングする(汚れや油をきれいに拭き取る)



2 アンテナケーブルの引き出し方向を決めアンテナケース裏側の溝にしっかり押し込み整形する



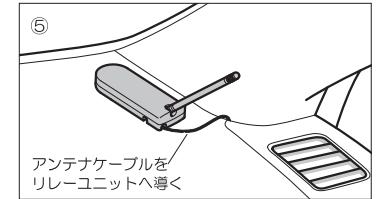
3 両面テープのセパレータを取りケース裏側の枠に合わせて貼り付ける



4 両面テープのセパレータを取り車両側の取り付け場所へ貼り付けしてアンテナエレメントの角度を調整する(※1)

### 5 アンテナケーブルをリレーユニット取り付け場所へ導く

※1 両面テープを貼り付ける際は周囲の温度が20°C以上の環境で作業をしてください。低温環境では両面テープの接着が弱くなり剥がれ落ちる場合があります。



### ② 専用ハーネスの取り付け

●それぞれのカプラ及び配線の接続先は必ず取り付けする車両の車種別取付資料を参照して指定されたところへ接続してください。

●配線の接続に使用するエレクトロタップは必ず専用ハーネスキットに付属のものを使ってください。車両により接続先の車両側配線の線径(太さ)が異なるため必ず車種別取付資料で指定したエレクトロタップ(桃色または白色)を使用して接続をしてください。

#### ① エンジンスイッチ割り込みカプラの接続

専用ハーネスの中継割り込みカプラ(オス・メス)を車両側のエンジンスイッチ裏側のカプラへ割り込み接続する。

●エンジンスイッチは車両により運転席側正面の右側または左側にあります。

●取り付けする車両により割り込みカプラによる接続ではなく専用ハーネスのSSW1出力線(緑色)とSSW2出力線(茶色)を車種別取付資料で指定された車両側の配線(SSW1、SSW2)へ付属のエレクトロタップを使用して接続する場合があります。

#### ② アース線の接続

専用ハーネスの黒色線(ラグ端子付き)を車体に直接締めてある(塗装されていない車体アース)ボルトまたはネジへ共締めして固定する。

●アース線の推奨固定場所は車両により車種別取付資料に記載してあるので参考してください。

#### ③ LF入力線(赤色)の接続

専用ハーネスの赤色線(先端切りっ放し)を車種別取付資料で指定された車両側の配線(LF)へ付属のエレクトロタップを使用して接続する。

#### ④ STOP-1出力線(青色)の接続

専用ハーネスの青色線(先端切りっ放し)を車種別取付資料で指定された車両側の配線(STOP-1出力)へ付属のエレクトロタップを使用して接続する。

#### ⑤ IG1入力線(オレンジ色)の接続

専用ハーネスのオレンジ色線(先端切りっ放し)を車種別取付資料で指定された車両側の配線(IG1入力)へ付属のエレクトロタップを使用して接続する。

#### ⑥ 12V線(黄色)の接続

専用ハーネスの黄色線(7.5Aヒューズ付き、先端切りっ放し)を車種別取付資料で指定された車両側の配線(12V)へ付属のエレクトロタップを使用して接続する。

#### ⑦ その他の配線・部品の取り付けについて

取り付けする車両により上記以外に配線の接続または部品の取り付け等が必要になる場合があります。車種別取付資料を確認していただき指示に従い取り付けをしてください。

### 3 CN2配線の接続

#### ① ドア(紫色)の配線

必ず配線する。

- 配線をしないとドアの開閉検出ができません。安全のために必ず配線してください。
- 配線をしない場合でもエンジンは始動できます。

#### ② オートライト(白色)の配線

車種別取付資料で配線の指示がある車種のみ配線する。

- 配線が必要な車種は車種別取付資料に接続先が記載されています。
- 配線をしない場合でもエンジン始動はできます。

#### ③ オートアンロック(桃色)の配線

必ず配線する。

- 配線をしないとスムーズアンロックスистемのオートアンロック機能が使用できません。
- 取り付けする車種によりオートロック機能が使用できない場合があります（車種別取付資料を参照）。この場合にはオートアンロックの配線をしないでください。

#### ④ 始動検出線(茶色)の配線

車種別取付資料で「必ず配線」の指示がある車種のみ配線する。

- 配線をしないとエンジン始動の判断ができないためエンジンは始動してもしばらくすると停止してしまいアイドリングを継続しません。

#### ⑤ ボンネットセンサー線(赤色)の接続

オプション部品のボンネットセンサーを取り付ける場合のみ接続する。

- ボンネットセンサーに付属のギボシ付き赤色線をCN2ハーネスの指定箇所（2番端子）へ差し込み接続してください。
- 取り付け及び配線方法はボンネットセンサーに付属の取付説明書を参照してください。

### 4 DIP-SW の設定

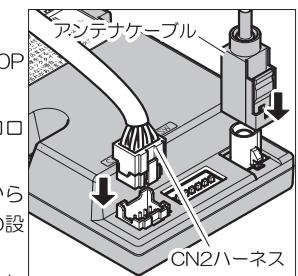
リレーユニットの電源を投入する前（CN1コネクタを接続する前）にDIP-SWの設定を行う。

- 車種別取付資料で指定されたポジションにDIP-SWのNo.1～6を設定してください。
- DIP-SWの設定が正しく行われていない場合は取り付けした車両以外のエンジン始動プログラムで動作するため電子キーの認証とエンジン始動が正常にできません。
- リレーユニットの電源を投入後にDIP-SWの設定を行われても無効となるため設定したエンジン始動プログラムで動作しません。DIP-SWの設定は必ずリレーユニットの電源投入前に行ってください。

### 5 ハーネス・アンテナケーブルの接続

#### ① 専用ハーネス・CN2 ハーネスの接続

- 専用ハーネスの12PコネクタをCN1へCN2ハーネスの10PコネクタをCN2へそれぞれ接続してください。
- CN1を接続してリレーユニットに電源が入ると「ピロロロッ」とブザー音が出ます。
- 続けて「ピッピッピッ」のブザー音が1分間継続してから「ブー ブー」音が止まらなくなる場合はDIP-SWの設定ができていません。  
一旦リレーユニットをハーネスから外しDIP-SWを指定されたポジションに設定してください。



#### ② アンテナケーブルの接続

- アンテナケーブルのプラグをリレーユニットのジャックヘツメがロックするまで差し込み接続してください。

### 6 初期設定

- 接続が全て完了してからこの設定を行ってください。

- 配線セルフチェック（39～41ページ）を行いセルフチェック完了後も必ずこの設定を行ってください。
- この設定をしないとエンジンスターターによるエンジン始動ができません。
- 車両のバッテリーを外したときまたはリレーユニットのCN1コネクタを外したときはこの設定が必要です。

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック音	備考
車両のIG電源→「ON」			受付時間10秒以内
「STOP」	ピピ	ピーピーピー…	受付時間10秒以内
フットブレーキを踏む		2秒後ブブ…と音が変化	踏んでから3秒後
フットブレーキを放す		ピピー	初期設定完了
車両のIG電源→「OFF」			

## 7 動作チェック

- 「初期設定」(37ページ)をしてから動作チェックを行ってください。
- リモコンは必ず車両の電子キーを取り付けしてから使用してください。(10ページ)
- 車両の電子キーを全て車室外に出してから動作チェックを行ってください。
- 「エンジンの始動」は必ず車両の電子キーでドアロック／アンロックが作動しない距離（車両から数10メートル以上離れた場所）からリモコンを操作してエンジンが始動することを確認してください。
- 操作に関する詳細と注意事項は「動かしてみましょう」(11~15ページ)を参照してください。
- 動作チェックで正常に作動しないときは配線セルフチェック（39~41ページ）・DIP-SW設定状態の確認（43ページ）・リレーユニットのブザー／アンサーバック表（43ページ）を参照して不具合箇所の特定と対処をしてください。

### 1. エンジンの始動

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピッ	始動する	する

### 2. エンジンの始動の確認（始動してから30秒後）

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピッ	アイドリング中	する

### 3. エンジンの停止

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「STOP」	ビビ	停止する	する

### 4. オートアンロック（機能を「使用する」に設定した場合のみ）

- ①車両の全ドアを閉めて電子キーでドアロックをしてから車両から 10m 以上離れてリモコンの「START」操作でエンジンを始動する。
- ②アイドリング中に運転席ドアの横（ドアから 1m 以内のエリア）へ移動してからリモコンの「STOP」操作でエンジンを停止する。
- ③約 1 秒後に自動的に車両のアンロックが作動することを確認してからドアを開ける。

### 5. オートアイドリングストップ（機能を「使用する」に設定した場合のみ）

- ①車両の全ドアを閉めて電子キーでドアロックをしてから車両から 20m 以上離れてリモコンの「START」操作でエンジンを始動する。
- ②始動してから 30 秒以上経過後にリモコンと電子キーを携帯して車両の近傍（車両から 1~5m 以内のエリア）へ移動する。
- ③自動的にリモコンからの「STOP」送信によりアイドリングが停止することを確認してから車両のシステム（運転席ドア外側のリクエストボタンを押す・ドアレバーのアンロックセンサーを握る・電子キーのアンロックボタンを押す）で開錠してドアを開ける。

## 8 配線セルフチェック

- 「初期設定」（37ページ）ができない場合や「動作チェック」（38ページ）でエンジンが正常に始動しない場合は配線セルフチェックを行い専用ハーネスの各配線の接続不具合の特定及びDIP-SWの設定状態の確認することができます。
- 下記の手順に従い配線セルフチェックで不具合箇所を特定してからNoと判断された配線の接続が車種別取付資料で指定されたとおりに正しくできているかを点検してください。
- 配線セルフチェックはリレーユニットのブザー音が聞き取れる場所で行ってください。車両の運転席でドアを開けた状態で作業は可能です。

### 配線セルフチェックの手順

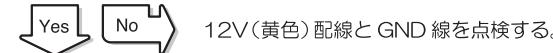
#### 1. 準備・共通の注意事項

- ①まずリレーユニットの CN1・CN2コネクタをハーネスから外してから DIP-SW を全て「OFF」の位置にセットしてください。
- ②各配線チェックの途中で次の手順に進めず 60 秒以上経過した（タイムオーバーのブザー音「ブー ブー」が継続する）場合はリモコンで「STOP」操作をしてください。約 6 秒以内にブザー音「ピロロロッ」または「ピピーッ」が出ます。ブザー音を確認してからリレーユニットをハーネスから外してください。

#### 2. 12V（黄色）配線、GND線のチェック

- ①リレーユニットの CN1 コネクタへ専用ハーネスを接続してください。

Q1：ブザー音「ピロロロッ」が出ますか？



Q2：ブザー音が「ピッピッピッピッ（継続）」に変わりますか？



- ②リモコンで「START & STOP 同時押し」操作をしてください。

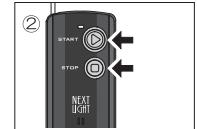
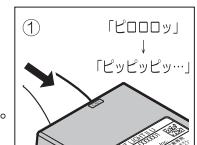
- ・ブザー音が「ピビビビッピビビビッ（継続）」に変わります。



- ③リモコンと電子キーを車両から 3m 以上離れた車室外へ出してください。



(40 ページへ続く)



### 3. LF (赤色) 配線のチェック

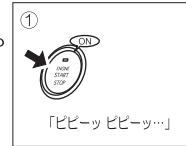
①車両のプッシュボタンを1回押してください。

Q3: ブザー音が「ピピーッ ピピーッ (継続)」に変わりますか?



LF (赤色) 配線を点検する。

※プッシュボタンを押す前にブザー音が変わる車両もあります。



### 4. STOP-1 出力 (青色) 配線のチェック

①車両のフットブレーキを踏んだままにしてください。

Q4: ブザー音が「ブブブ・・・(継続)」に変わりますか?



STOP-1 出力 (青色) 配線を点検する。

②車両のフットブレーキを放してください。

・ブザー音「ピピーッ」が出ます。

・すぐにブザー音が「ピビッ ピビッ (継続)」に変わります。



### 5. IG1入力 (橙色) 配線のチェック

①リモコンと電子キーを車室内へ持ち込んでください。



②車両のプッシュボタンを2回押してIG電源をONにしてください。

Q5: ブザー音が「ブブブ・・・(継続)」に変わりますか?



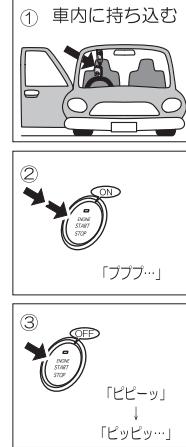
IG1 入力 (橙色) 配線を点検する。

③車両のプッシュボタンを1回押してIG電源をOFFにしてください。

・ブザー音「ピピーッ」が出ます。

・すぐにブザー音が「ピッ ピッ (継続)」に変わります。

※車両側から運転席ドア開のアラーム音が出ている場合はドアを1回閉めてから開けると音は止まります。



### 6. DIP-SWの設定とチェック

①DIP-SW を車種別取付資料で指定されたポジションにセットしてください。



(41ページへ続く)

②リモコンで「START & STOP 同時押し」操作をしてください。

・DIP-SW の設定状態を示すブザー音が出ます。

・車種別取付資料に記載されているとおりにブザー音が出ることを確認してください。

・ブザー音で DIP-SW の 1 番から順番に 6 番までの設定状態をゆっくり発音します。

・「ON」の状態は「ピピーッ」・「OFF」の状態は「ブブ」と発音します。

※ DIP-SW のセットと設定状態の確認は何回でもやり直すことができます。



### 7. 配線セルフチェック完了

①リモコンで「STOP」操作をしてください。

・ブザー音「ピッ ピッ (継続)」が止まりすぐにブザー音「ピピーッ」が出ます。



・約 6 秒以内にブザー音「ピロロロッ」または「ピピーッ」が出て配線セルフチェック完了です。



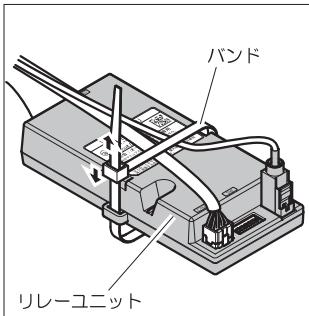
・「初期設定」(37 ページ) をしてから「動作チェック」(38 ページ) を行ってください。

## 9 リレーユニットの取り付け

①動作チェックをして確実に動作することを確かめてから取り付けを行う。

②リレーユニットの取り付けは付属のバンドと両面テープ等でゆるみ・がたつきのないように車両のハーネス等にしっかりと固定する

- リレーユニットは車室内(高温:70°C以上とならない)・水の浸入しない・結露しにくい場所)でなるべくコネクタは下向きになるように取り付けてください(電線を伝わって水が浸入するのとほこり等による接触不良を防止するため)。



## 10 取り付け後の配線処理

●配線コードは車両の可動部(チルトステアリング・アクセル・ブレーキ・パーキングブレーキ・アクセルリンク等)またはシャーベッジに触れたり挟み込まれたり垂れ下がらないように束縛バンド等で結束してください。絶縁処理の必要な配線は絶縁テープ等で処理をしてください。



- 警告**
- リレーユニットの取り付けが不完全な場合は落下等で運転に支障をきたし重大な事故につながる恐れがあります。
  - リレーユニットは足下の水の跳ね返りや外部からの水の浸入が無いように設置してください。内部に水が浸入すると動作不良等によって重大な事故につながる恐れがあります。(リレーユニットは防水対応ではありません。)
  - 配線コードが挟み込まれたりすると場合によっては断線・ショートが起こりリレーユニットまたは車両のシステムを破損したりアクセル・ブレーキが正常に操作できなくなったり車両火災を起こす危険があります。

## 11 機能の設定

- 各機能はリモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定はお客様に引き渡す前にあらかじめお客様に確認の上で必要に応じて行ってください。
- 各機能の詳細説明と設定手順は「便利な機能」及び「機能の設定」(16~25ページ)を参照してください。
- 設定により変更できる機能と工場出荷時の各機能の設定は以下の一覧表を参照してください。

機能	出荷時設定
スムーズアンロックシステムの設定	スムーズアンロックを使用しない
近距離動作モードの設定	使用しない
アイドリング時間の設定	20分

## 12 設定のリセット

●各機能の設定をリセットして全て工場出荷時の設定(42ページ)に戻したい場合は以下の手順で設定のリセットをしてください。

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック	備考
車両のIG電源→「ON」			受付時間10秒以内
「START」	ピッ	ピーピーピー…	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ブブブ…	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ピロロロッピピー	設定のリセット完了
車両のIG電源→「OFF」			

## 13 DIP-SW設定状態の確認

●DIP-SWが車種別取付資料で指定されたポジションに正しくセットされているかを以下の手順で確認することができます。

●DIP-SW設定状態のブザー音が車種別取付資料の記載と異なる場合はリレーユニットのCN1・CN2コネクタを抜いてからDIP-SWを正しいポジションにセットしてCN1・CN2コネクタを接続後に再度設定状態の確認をしてください。

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック	備考
車両のIG電源→「ON」			受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ピーピーピー…	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ブブブ…	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	DIP-SW設定状態を発音	車種別取付資料を参照
車両のIG電源→「OFF」			(確認終了)

## 14 リレーユニットのブザーアンサーバック表

番号	アンサーバック音	アンサーバック音が鳴る場合
1	ピロロロッ↑	リレーユニットに電源が入ったとき
2	ビーピー	近距離動作モードによるスタート受付時
3	ブーブブ	初期設定が行われていないとき フットブレーキが踏まれているとき
4	ブブ	ドアが開いているとき
5	ブブブブ	ボンネットが開いているとき
6	ブブブー	エンジン始動時にIG電圧が低いとき(9V以下) IG電圧降下時
7	ブブブーブ	エンジン始動時の始動検出電圧異常時 始動検出にて始動後の始動検出電圧異常時
8	ビビビー↑	始動成功時
9	ビビビーピ↑	始動検出での始動成功時
10	ブブーブ	電子キーの認証失敗時
11	ピーッ ピーッ…	ローリングコードエラー時

○印はエンジンが始動しないときまたはエンジンが停止したとき(アイドリング終了時)に発音します。

## 4 電池交換について

### 電池の交換時期について

「START」操作をしてリモコンがアンサーバック表示をした後に電池の消耗をお知らせするブザー音が「ブッ ブッ ブッ ブッ」と4回鳴る場合は電池が消耗してきてるので早めに新しい電池と交換してください。  
（※1）

### 電池寿命の目安

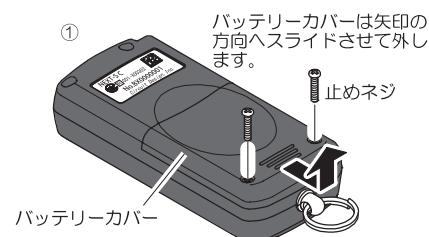
約1年間（1シーズン）の使用を目安に定期的な電池交換をおすすめします。（※2）

### 使用電池（CR2450×1個）

- ※1 電池は消耗してくると特に低温時に性能が低下してきます。このため極低温の環境でリモコンを使用した場合電池消耗をお知らせせずに作動しなくなることがあります。
- ※2 電池寿命は使用する環境と条件によって異なります。工場出荷時にリモコンに装着されている電池はモニター用のため記載より短い期間で消耗する場合がありますのでご了承ください。

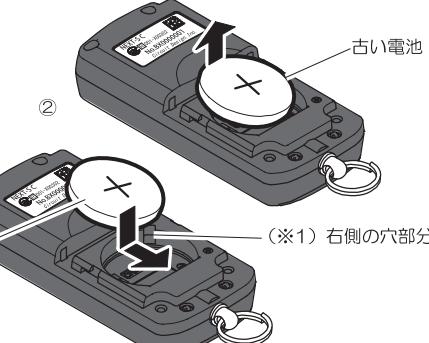
## 電池交換のしかた

- リモコン裏側のカバー止めネジ（2本）を外しバッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り外す。



- 古い電池を取り外し+側が上になるように新しい電池（CR2450×1個）と交換する。

※1 電池が外れないときはケース右側の穴へつまようじ等を差し込み電池を浮かせてから取り外してください。



- バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り付けしてネジ（2本）を止める。



- 注意**
- ネジの取り外しと固定には必ず精密ドライバー（+）を使用してください。
  - バッテリーカバーは隙間の無いように取り付けして確実にネジを止めてください。バッテリーカバーの取り付けが不完全な場合はリモコン内部に水が入りやすくなり故障の原因となります。

## 操作・設定早見表(ふろく)

エンジンの始動	【START】
始動確認	【START】
停止	【STOP】
電波到達エリアの確認	【STOP】
初期設定	【★★】【STOP】【FB ↓】【FB ↑】【★】
オートアンロックを使用する	【★★】【START】【STOP】【START】【★】
オートアイドリングストップを使用する	【★★】【START】【STOP】【STOP】【STOP】【★】
スマーズアンロックを使用しない	【★★】【START】【STOP】【START／STOP】【★】
近距離動作モード「使用する」	【★★】【START】【START／STOP】【START】【★】
近距離動作モード「使用しない」	【★★】【START】【START／STOP】【STOP】【★】
アイドリング10分	【★★】【START】【START】【START】【★】
アイドリング20分	【★★】【START】【START】【STOP】【★】
アイドリング30分	【★★】【START】【START】【START／STOP】【★】
スペアリモコンID書き	【★★】【START／STOP】【STOP】【★】
設定のリセット／初期状態に戻す	【★★】【START】【START／STOP】【START／STOP】【★】
DIP-SW設定状態の確認	【★★】【START／STOP】【START／STOP】【START／STOP】【★】

【★★】の操作は車両のpusshボタンを2回押してイグニッションを「ON」にする。

【★】の操作は車両のpusshボタンを1回押してイグニッションを「OFF」にする。



## 5 主な仕様

### ■リモコン

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	15mW 以下
アンテナ	2段ロッド
スイッチ	START / STOP
送受信確認	ブザー & LED
電池消耗確認	ブザー
使用電池	リチウム電池 CR2450×1個
防水対応	JIS 保護等級IPX2相当
動作温度範囲	-10°C～+60°C
寸法	76mm × 35mm × 18mm (突起部含まず)
重量	46g (電池含む)

### ■リレーユニット

送信周波数	920MHz帯 / 315MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	15mW 以下 / 250μW 以下
電源電圧	DC9～16V (12V 車専用)
消費電流	7mA (待受時平均値)
動作確認	ブザーにより車両側の動作状態を発音
動作温度範囲	-30°C～+70°C
寸法	135mm × 62mm × 25mm (突起部含まず)
重量	110g

### ■アンテナユニット

方式・取付方法	ダッシュボードサイド取り付けタイプ
使用温度範囲	-30°C～+95°C
寸法	70mm × 24mm × 12.5mm (エレメント含まず)
重量	45g (ケーブルを含む)
ケーブル長さ	1500mm

※仕様及び外観は改良のため予告無く変更することがあります。

## 6 スペアリモコンについて

●リモコンを紛失または破損した場合（修理が不可能な場合）は有償でスペアリモコンを作成することができます。保証書またはリレーユニットのシリアルナンバーをご確認の上販売店または取扱店へ注文してください。

### ●スペアリモコンのID書き込みと動作確認手順

操作	送信音	リレーユニットのブザー音	備考
車両のIG電源「ON」			受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ピロッ	受付時間10秒以内
「STOP」	ピピッ	ピピー	ID書き完了
車両のIG電源「OFF」			
「START」	ピッ	(エンジン始動)	

●書き込み完了しても「START」操作でエンジンが始動しない場合は登録ができていません。最初からやり直してください。

●スペアリモコンのID書き込みが完了すると今までのリモコンは使えなくなります。リモコンを2個以上注文されても1台の車両に対して使用できるのは1台のリモコンのみです。

●リレーユニットを取り外した場合は42ページの「リレーユニットの取り付け」と「取り付け後の配線処理」に従って取り付けを行ってください。

## 保証規定

本製品は厳重な品質管理のもとに製造され検査に合格し出荷されておりますが、お客様の正常な状態でのご使用中、万一故障が発生した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理をさせていただきます。

1. 保証の期間内において、本製品を取扱説明に従った正常な使い方で故障が発生した場合は、お買い上げの販売店を窓口として無償にて修理いたします。
2. 保証の期間はお買い上げの日より36カ月(3年間)とします。
3. 保証期間内であっても下記に該当する場合は保証の対象にはなりません。
  - A)お客様による取り扱い時の落下、衝撃、またはお客様の取り扱いが適切でないために生じた故障、損傷。
  - B)当社の技術者以外の方が修理・分解・調整・改造等をされたもの。
  - C)電池の液漏れによる故障、損傷。
  - D)火災、地震、台風等の天変地異や、その他不可抗力による故障、損傷。
  - E)保証書の無い場合、またはご提示の無い場合。
  - F)保証書に規定の記載及び店印の無い場合。
4. 消耗部品(電池、アンテナ等)やリモコンのケース破損は保証対象外です。
5. 修理によって生じた交換部品は原則としてお返しいたしません。
6. 本保証書は再発行いたしません。紛失しないよう、大切に保管してください。
7. 保証期間内に修理を依頼する際は、製品に本保証書を添付の上、お買い上げの販売店にご用命ください。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in JAPAN.

※本保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものであり、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

なお、保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店までお問い合わせください。